



空家に関する 専門家への相談



相続人同士の権利問題や名義変更手続きなど、必要に応じて弁護士、司法書士、不動産会社など専門家に相談しましょう。

専門の相談窓口※ 相続や法律問題などの専門的な相談内容については、下記の専門相談窓口にご相談ください。

相談の専門分野	問合せ	
相続・権利関係	大阪司法書士会(司法書士総合相談センター)	☎ 6943-6099
空家・財産管理等(関連する相続・成年後見などの法律問題も含む)	大阪弁護士会(空家・財産管理人無料電話相談受付窓口)	☎ 6364-5500
所在調査・相続手続	大阪府行政書士会	☎ 6943-7501
税務一般	近畿税理士会(もしもし税金相談室)	☎ 050-8880-0033
土地境界	HPIはこちら▶  大阪土地家屋調査士会	※面談のみ

※大阪府等公的団体と既存住宅流通やリフォーム・リノベーションに関わる民間団体・事業者で構成された「大阪の住まい活性化フォーラム」で実施している「住まいの相談窓口」より引用

その他の相談窓口

相談の内容	問合せ	
大阪市から借りている土地に関する相談 (賃借人の死亡に伴う名義書換の手続きなど)	大阪市契約管財局管財課 賃貸グループ	☎ 6484-5112
住まいに関する相談 (住まいを借りるときや購入する際の質問、建築、リフォームなど)	大阪市立住まい情報センター	☎ 6242-1177 (専門家相談は要予約)
空き家の管理 (空き家の植木剪定、除草・建物周辺の清掃などの依頼)	大阪市シルバー人材センター(西部支部)	☎ 6543-7011
大阪府住宅リフォームマイスター制度(安心して住宅リフォームが行えるよう大阪府が指定した「マイスター登録団体」が基準を満たした「マイスター事業者」を紹介する制度)	大阪府都市整備部 住宅建築局 建築環境課 住環境推進グループ	☎ 6210-9717
港区役所における空家相談窓口	詳しくはこちら▶  協働まちづくり推進課 エリア開発推進グループ	☎ 6576-9928

区制100周年記念

みなとの100年、みんなの物語

～これまでも これからも この地域と～

港区の北東部に位置する波除地域。工場から住宅への転換が進んで人口が増加し、波除小学校は区内で最も多い児童数となっています。地域名は、江戸時代に安治川の土砂を積み上げて造られた人工の山「波除山」からきているそうです。今回は波除地域について、民生委員の原田さん、主任児童委員の水野さんにお話を伺いました。

【港区で最初に誕生した子育てサロン「紙ふうせん」

港区内でいちばん初めに子育てサロンを立ち上げたのが、波除地域。平成12年(2000年)に「紙ふうせん」の名称で始まりました。当初は波除小学校の空き教室を会場にしており、原田さんは「在校生がのそきにきてくれたり、クリスマスには校長先生がサンタクロースに扮してプレゼントを配ったり、学校との交流も盛んでした」と当時を振り返ります。その後、波除小学校の建て替えなどに伴い、会場を波除会館に移動。コロナ禍を経て、現在は予約制で実施しています。「今は共働きの家庭が多く、地域での子育てのつながりはごく短い時期に限られます。話せる相手や知り合いがいない方が子育てサロンに気軽に参加してもらえよう、保健師さんや地域の方々の力も借りながら、口コミでも広げていけたらと考えています」と水野さん。子育てサロンが、親子ともに地域に安心して関われるきっかけになればと、水野さんたちは活動を行っています。

【学校と連携し、子どもたちの安全と成長を見守る

お2人はサロン運営のほかにも、地域の子どもたちを支える活動にも積極的に関わっています。毎週水曜日の下校時に実施している見守り活動では、旗を持って横断歩道などに立ち、下校する子どもたちの安全を守ります。小さかった一年生がだんだん大きくなり、卒業する頃



には自分たちを追い越すほど背が高くなっている——そんな子どもたちの成長を間近で感じられるのも、この活動の喜びのひとつ。月2回は、小学校での読み聞かせボランティアも実施しており、学校と連携しながら、子どもたちと定期的に触れ合う機会を設けています。

子育てサロンに来ていた子が小学生になって見守りで再会することもあり、「紙ふうせんの人や!」と言われることもあるそうです。「小さい頃のほんの短い間なのに、覚えていてくれたことがうれしくて」と水野さんは笑顔に。原田さんも、「長く活動していると、子どもたちの成長を見守ることが日常の一部になります」と語ります。



【「困ったときに思い出してもらえる存在でありたい」

原田さんが地域活動に関わるようになったのは、小学校のPTA活動がきっかけ。先輩に声をかけられ、「地域の役に立てるなら」と主任児童委員を引き受けました。一方、水野さんは、民生委員だった母の退任を機に主任児童委員を勧められたのが始まり。「原田さんと一緒なら心

港区には、地域ごとに紡がれてきたまちの物語があります。区制100周年を機に、その過去と今を語り合い、これからの未来をともに思い描くインタビュー企画をお届けします。

波除地域

強いと思って」と就任を決意しました。

原田さんは民生委員として、行政や警察の方と連携しながら、子育て世帯や独居高齢者などの見守りも行っています。責任の重い役割ですが「私がやらなきゃ!と気負うのではなく、まわりのお力を借りながら、何か少しでもお役に立てればという気持ちでやらせてもらっています」と自然体で活動を行っています。

最近は外国にルーツを持つ子どもたちも多く、いかにコミュニケーションをとるかが課題に。それでも原田さんは「どこにルーツがある方でも、皆さんが安心して暮らせる街になればいいと思います」と力強く語ります。水野さんは、「民生委員や児童委員が身近な相談相手として地域にいて、どんな小さなことでも気軽に相談できるということを、ぜひ皆さんに知っていただけたらうれしいです」と語ります。

地域の誰もが安心して暮らせる環境づくりへ。お2人は地域に寄り添い、身近な支えになれるようにと活動を行っています。



長く主任児童委員を務め、現在は民生委員として活動する原田由美子さん(左)と、主任児童委員として子育てサロン「紙ふうせん」の運営に関わる水野盟子さん(右)